



地域のチカラで家庭や子どもを支えるために 「家庭教育ワークショップ」の成果発表を行います

11月からスタートした「家庭教育ワークショップ」。子育てや教育、地域活動など様々な経歴や経験を持つ約 30 人の方にご参加いただき、家庭教育の課題や地域・学校・家庭との連携による家庭教育の支援策についての意見交換や検討を進めています。

次回、1月21日（日）は第3回（最終回）の開催となり、これまでの検討内容をさらに深め、グループごとの提案について成果発表を行います。

なお、いただいた提案を具体化した実践的な取り組みを来年度から進めていく予定です。

未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、地域全体で子育てや家庭をサポートする体制づくりが求められており、多様なスキルを持つ人材を活用した家庭教育支援活動へと発展させていきたいと考えています。

■ 家庭教育ワークショップ

第1回 11月19日（日）10:00～12:00 市役所大会議室（参加者 19 名）

- ・講師、コーディネーター 大谷 裕美子さんによる「地域のチカラで家庭や子どもを育てる～地域の大人はみんな親～」をテーマに講演と参加者による自己紹介

第2回 12月10日（日）10:00～12:00 市役所大会議室（参加者 31 名）

- ・「子育てに関して気になること、課題と感ずること」や「課題を解決するために、私たちができそうなこと、やってみたいこと」について6班に分かれてのグループワークを行い発表。（主な内容については、別紙のとおり）

第3回 1月21日（日）10:00～12:00 市役所大会議室

- ・「地域の力で家庭や子どもを支援する方策」について、前回出された意見を踏まえて、実践につながる具体的な提案（事業・イベント等）を6班で検討し発表。

※コーディネーター 大谷 裕美子さん

（文部科学省 CS（コミュニティスクール）マイスター、大阪府社会教育委員、河内長野市社会教育委員、ゆめ☆まなびネット（河内長野市）コーディネーター、（社）日本アンガーマネジメント協会シニアファシリテーター）

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市教育委員会生涯学習課（課長 清水、課長補佐 梅谷） ☎0743-74-1111（内線 642）

《別紙》 第2回家庭教育ワークショップの内容

第2回家庭教育ワークショップでは、6班に分かれ、まず「キーワードの抽出」を行い、次に「課題解決のために、自分たちができること」を話し合いました。

＜ワークショップ1＞ 子育てに関して気になること、課題と感ずることについてのキーワード

以下のキーワードが抽出されました。

- 「コミュニケーション」・・・地域、親子、親同士、子ども同士
- 「あいさつ」・・・情報共有や地域の交流など、地域の活性化や防犯につながる。
- 「子どもとの向き合い方」・・・親子で過ごす時間の不足、親の多忙による心のゆとりのなさ
- 「子どもの遊び方」・・・遊びを通した学び、縦割り遊びの良さ

＜ワークショップ2＞ 課題を解決するために、私たちが「できそうなこと」「やってみたいこと」

以下の6つの意見がまとめられました。

- ① 親同士、子ども同士、親子で集える場のイベントを開催
- ② 気軽に参加できる講座や講演会
- ③ SNS等を活用した情報発信
- ④ 子どもの居場所づくりの一環として、大学生を活用した放課後の学習支援
- ⑤ いろんな地域活動をされている団体同士の横の連携強化、交流の場づくり
- ⑥ 地域の大人が積極的に子どもたちへ「あいさつと声かけ」を行うとともに、地域で子どもたちに遊びなどを教える場や地域の見守りなど地域の高齢者も参画してもらおう。